

6月1日（月）分散登校が始まりました

休業中の登校日扱いである準備登校に続き、6月1日から分散登校が始まりました。期間は6月第1週の5日間。初日のこの日は、男女別の出席番号偶数の生徒が午前中の登校、偶数の生徒が午後から登校をしました。2日は偶数の生徒が午前中、奇数の生徒が午後からというように、午前午後の登校を交互に行います。

初日に大きな混乱はありませんでしたが、午後からの生徒たちの登校時間がまちまちで、早い生徒と遅い生徒では1時間以上の差がありました。これから繰り返す内に登校時間の感覚がつかめてくるでしょう。学年ごとに入り口を分けたことも、密のないスムーズな登校につながりました。



授業に積極的に取り組みました。

午前午後の入れ替え時には、職員が教室やトイレを中心に消毒を行います。バスの乗車時間が最も長い生徒で片道40分ですので往復80分。この時間内に、消毒と昼食を済ませなければならないので、職員は昼休みなしで取り組みます。

授業は午前午後3時間ずつ。教科の授業では準備登校の学習を継続させ

たり、授業びらきを行ったりしました。

初日には、個人写真の撮影が行われ、「はい！チーズ！」のかけ声にこのときばかりは多くの生徒がすてきな笑顔を見せていました。教室で過ごす生徒たちの表情にはまだ硬さが残り、写真撮影の時に見せたかわいらしい笑顔が、日常の生活や授業で見られるようになるのが待ち遠しく思われます。



整然と並んで撮影の順番を待ちました。